



# 市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

**No.52** 2014年7月15日発行

(医)真康会 整形外科鳴嶋クリニック  
〒594-0071 和泉市府中町7-2-5  
□イヤルフラット和泉1F  
TEL0725-43-8088 FAX0725-43-8010

## 巻頭言

市整会副会長 安田 浩成 (S54年入局)

今年の梅雨入りはあちこちで記録的豪雨、北海道が全国で一番暑くなるなど、また異常な天気が始まりました。今年の夏はエルニーニョ現象が起るらしいのですが、果たして暑くなるのやら、涼しくなるのやら。

また今年はサッカーの世界カップがあり、世界中が盛り上がります。日本はいい成績が残るでしょうか。私もしばらくサッカー観戦を楽しめそうです。この原稿が市整会会報として皆様に届く頃には優勝国も決まっていることでしょう。

本題に入りますが、まず市整会にとって悲しいお知らせをしなければなりません。市整会の前身である「開業医会」を作るのにご尽力された宮内貴先生が5月14日に亡くなられました。市整会のホームページに「概要」という欄があります。そこに宮内貴先生が「開業医会」を創設するに至った経緯や苦労話がかかれてあります。「開業医会」は昭和48年5月に発会となり、定款に「大学との連携を保ち、本会員の資質向上を図り、会員相互の強調と親睦扶助を推進すること」と会の目的が明記されました。歴代会長がこの目的に沿って、いろいろな事業を展開し、会としての形が整ってきたようです。現在会員数200名を超える大きな組織となり、会の名称は「市整会」に変わりました。私は6年ほど前から理事会に参加していますが、宮内貴先生も参加されていて意見を述べられていたことが思い出されます。先生は市整会の発

展を心から願っておられました。私達は今後も微力ながら市整会が発展していくよう努めていきたいと思えます。この場を借りて宮内先生のご冥福をお祈り申し上げます。会員の皆様も一度市整会のホームページを開いて「概要」を読んでみてください。

さて鳴嶋真人会長体制も早や3年目になっています。会長も当初からの市整会の目的からブレることなく市整会事業の運営にあたられています。今年度は天野祐一先生のもとで健保・労災・診療担当理事が新設されました。会員が診療所を営んでいくうえで生じてくる問題点を勉強していこうということで、早速今年10月25日(土)に「これからの整形外科のかたちを考える」(仮)と題して、在宅医療や介護保険に関する勉強会が企画されています。この問題もこれからの整形外科は避けることのできない課題かと思われれます。特に若い先生方には多数参加して勉強していただけたらと思います。

最後に福利厚生からの連絡で、今年の家族会は11月9日(日)に伊賀上野へ行くことが決まりました。担当の大川得太郎先生や宮脇裕二先生や天野祐一先生が関連の記事を書いてくれています。今回は特に子供さんが喜んでもらえる企画になっています。どうぞご家族そろって多数ご参加ください。

(2)

## 平成26年度 市整会総会

平成26年4月26日(土) 場所 天王寺都ホテル 午後4時～4時45分

総合司会 総務 斧出

会長挨拶 鳴嶋会長

総会の成立について(斧出) 出席37名 委任状86枚 会員数205名

総会 議長 前野岳敏先生、副議長 頼 功先生

### 議題

#### 報告事項

- 1、会員の動向について(斧出)
- 2、平成25年度事業報告(斧出)
- 3、平成25年度会計報告(柳井) 会計監査報告(寺川)
- 4、その他の報告事項は無し。

#### 協議事項

- 1、平成26年度事業計画(斧出)
- 2、平成26年度予算案(柳井)
- 3、新年度の市整会役員(案)について(鳴嶋会長)
- 4、保険担当の勉強会の開催について(鳴嶋会長・天野)
- 5、その他の協議事項は無し。

#### 会員の動向について

##### ・死亡退会者

高橋 昌幸先生(H24.8.14ご逝去)

松井 善邦先生(H25.11.23ご逝去)

柴田 辰男先生(H26.04.10ご逝去)

\*亡くなられた先生方に対し、参加者全員で、1分間の黙とうをささげた。

##### ・その他の退会者 なし

##### ・閉院：山田 守義先生(昭和43年入局)H25年4月廃業

齋 吉植(ユ キッシュョク)先生(昭和34年入局)H25年12月廃業

##### ・名誉会員：越宗 正晃先生(入局：昭和44年、誕生日：1943/05/30)

中村 英健先生(入局：昭和44年、誕生日：1944/01/17)

許 国広先生(入局：昭和44年、誕生日：1943/10/19)

山田 忠尚先生(入局：昭和46年、誕生日：1943/07/09)

小野 興三郎先生(入局：昭和46年、誕生日：1944/01/06)

菱川 泰先生(入局：昭和48年、誕生日：1944/01/30)

##### ・新入会：平成3年入局 岩城 啓好先生

医療機関名 中之島いわき病院 院長 人工関節センター長

大阪市福島区福島3-2-9

TEL: 06-6458-3151 Fax: 06-6458-3155

開業年月日 平成25年7月

昭和49年入局 岡垣 健太郎先生

医療機関名 (医)頼整形外科クリニック

〒591-8004 堺市北区蔵前町3丁2番8号 サンロード1F

開業年月日 平成25年10月1日  
 平成7年入局 姜 良勲（きょうよしのり）先生  
 医療機関名 きょう整形外科・神経外科クリニック  
 〒660-0861 兵庫県尼崎市御園町54番地カーム尼崎 3階  
 TEL;06-6411-0714 Fax;06-6411-5476  
 開業 平成25年12月3日  
 平成12年入局 中村信之先生  
 医療機関名 整形外科なかむらクリニック  
 〒569-1121 大阪府高槻市真上町2丁目1-31  
 Tel;072-685-8637 Fax;072-685-8638  
 開業年月日 平成26年5月7日

## 平成25年度事業報告

- H25.04.27 (土) 市整会総会 天王寺都ホテル (旭化成ファーマ)  
 出席34名 委任状86枚 会員数202名  
 学術講演 「関節軟骨の分化制御と機能維持」(座長:増田 博先生)  
 講師 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 病院講師 大田 陽一先生
- H25.06.08 (土) 市整会学術講演会(共催:田辺三菱製薬)  
 16時より 天王寺都ホテル 6階 吉野の間(東)  
 参加人数:117名 会員:47名 勤務医:28名 その他:42名  
 学術講演1 「関節リウマチの臨床」(座長;小竹 志郎先生)  
 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 准教授 乾 健太郎 先生  
 学術講演2 「プライマリ・ケアにおけるうつ病診療」(座長;飯田 伊佐男先生)  
 東大阪市立総合病院 主席部長 岸田 学先生  
 学術講演3 「整形外科医に知って頂きたい神経内科疾患」(座長;宮内 晃先生)  
 京都府立医科大学附属北部医療センター センター長 中川 正法 先生
- H25.06.22 (土) 大阪最新整形外科研修セミナー(大学行事)  
 H25.07.  
 会誌発行
- H25.07.28 (日) スケルトンゴルフコンペ 花吉野CC (参加31名(勤務医5名))
- H25.10.05 (土) 理事会・市整会フォーラム(共催:帝人ファーマ)  
 ラマダホテル2階 大淀の間 午後5時~  
 理事出席24名 委任状27枚  
 特別講演「誤診例からの教訓—脊椎関連疾患—」  
 宮内整形外科院長 宮内 晃先生 (座長;増田 博副会長)
- H25.11.09 (土) 大阪最新整形外科研修セミナー(大学行事)
- H25.11.10 (日) 家族会 参加43名 内会員19名 ご家族24名  
 難波発→京都最古の禅寺「建仁寺」→京料理「木乃婦」で食事→  
 京菓子の老舗「甘春堂」東店で和菓子作り体験→難波解散
- H25.11.16 (土) 市整会学術文化講演会(梅田スカイビル)(共催:日本臓器)  
 (総司会;小竹 志郎先生)  
 参加 市整会会員43名(プラス家族1名)、同門勤務医14名、非会員6名、合計64名  
 学術講演「MRIによる関節軟骨、椎間板、神経の質的評価」  
 帝京ちば総合医療センター 渡辺 淳也准教授 (座長;増田 博副会長)  
 文化講演 『大脳生理学からみた空海のダイナミックな人間学』  
 伊藤整形・内科 あいち腰痛オベククリニック 理事長  
 藤田保健衛生大学 脳外科学講座 脊椎外科客員教授 伊藤 不二夫先生

(4)

(座長；鳴嶋 真人会長)

- H25.12.8 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘CC 参加26名
- H26.1.11 (土) 市整会新年会 ANAクラウンプラザホテル  
(共催：エーザイ・学術講演のみ) (新年会司会・進行；斧出 安弘先生)  
(参加者 会員29名 同門会3名 ご家族20名 合計52名)  
特別講演『骨軟部腫瘍の温故知新』(座長；増田 博副会長)  
演者 大阪市大 整形外科 講師 星 学先生 (ほし まなぶ)  
谷本吉造先生の受賞 ((第66回日本医師会設立記念大会で社会福祉活動の増進に貢献した功労者として、日本医師会最高優功賞を受賞される) を祝うセレモニー  
アトラクション 高岡 陽子さん (ポップス歌手) Vo 高岡 陽子 Gy 中島 岳  
Key 呉服 隆一 Dr 浜野 明浩 Bs 荻野 哲史
- H26.03.08 (土) 諮問委員会 リーガロイヤルホテル タワーウィング4F「サブスタジオ」  
16:00~17:00 (出席 14名)
- H26.03.08 (土) 市整会学術講演会 リーガロイヤルホテル 17:00~19:30 (共催 小野薬品)  
(出席者数 市整会 52名、同門 28名、非会員54名 合計134名)  
学術講演Ⅰ「3分間神経診察法 - 最も簡単で効率の良い考え方・進め方-」  
(座長；増田 博先生)  
演者 大阪医科大学内科学Ⅰ・神経内科 講師 中島 秀人先生  
学術講演Ⅱ「橈骨遠位端骨折の臨床からみた骨粗鬆症」(座長；飯田 伊佐男先生)  
演者 産業医科大学 整形外科学 准教授 酒井 昭典先生  
関連病院紹介：大阪鉄道病院 (小西 定彦先生)、市立柏原病院 (中村 夫左央先生)
- H26.03.29 (土) 市整会平成25年度後期理事会・市整会フォーラム (久光製薬)  
阪急ターミナルスクエア 午後5時~  
出席者16名 委任状 29名 (理事65名により理事会成立)  
特別講演「側彎症とその治療」黒田 晃司先生 (座長；増田 博先生)

## 平成26年度事業計画

- H26.04.26 (土) 市整会総会 (旭化成ファーマ) 天王寺都ホテル 5階 高取の間  
特別講演 「スポーツ整形外科分野における、臨床に繋がる基礎研究」  
(座長；増田 博副会長)  
演者 大阪市立総合医療センター 山崎 真哉先生 (やまさき しんや)
- H26.06.14 (土) 市整会学術講演会 (共催：田辺三菱製薬) 天王寺都ホテル6階「吉野の間」(東)  
学術講演1「発育期の膝スポーツ外傷・障害について」(座長；西澤徹先生)  
演者 熊本大学大学院 生命科学研究部 整形外科学分野 教授 水田 博志先生  
学術講演2「関節リウマチにおける生物学的製剤と手術の役割」(座長；明石健一先生)  
演者 東京女子医科大学東医療センター 整形外科・リウマチ科  
准教授 神戸 克明先生  
学術講演3「整形外科の診療に役立ついくつかの皮膚疾患の知識」  
(座長；古瀬洋一先生)  
演者 京都府立医科大学付属病院 皮膚科 教授 加藤 則人 先生
- H26.07. 会誌発行
- H26.07.27 (日) スケルトンゴルフコンペ (花吉野カンツリークラブ 10組)
- H26.09.27 (土) 理事会・市整会フォーラム (共催：帝人ファーマ)  
場所・時間等は、未定  
特別講演「漢方(仮)」  
演者「西上 茂樹先生(仮)」

- H26.10.04 (土) 市整会学術文化講演会 (天王寺都ホテル予定：日本臓器・学術講演のみ共催)  
(総合司会；未定)  
学術講演「演題名は未定」 (座長：未定)  
演者 奈良医大整形外科教授 田中 康仁 先生  
文化講演「患者トラブルの対策 (仮)」 (座長：未定)  
演者 大阪府保険医協会 事務局次長 尾内 康彦先生 (おのうち やすひこ)
- H26.10.18 (土) 南大阪骨折研究会 (大学行事)
- H26.10.25 (土) 「これからの『整形外科のかたち』を考える」 (仮)  
(ホテルモントレグラスミア大阪予定：久光製薬) (総合司会：馬野 隆信先生)  
演題1 在宅医療講演 「在宅医療の現状と課題 (仮)」 (座長；伊藤 智康先生)  
演者 城東区いけじり内科・外科クリニック 池尻 真康先生  
演題2 「介護保険分野の可能性を探る (仮)」 (座長：天野 祐一先生)  
「デイサービス事業ノウハウとゼン」 (仮) 講師 増田 博先生  
「介護事業4施設の経営について」 (仮) 講師 馬野 隆信先生  
「サービス付き高齢者住宅について」 (仮) 講師 秋野 一男先生  
「短時間通所リハの実際、診療所で行うリハの延長として」 (仮)  
講師 喜多 義将先生 (予定)
- H26.11.08 (土) 大阪最新整形外科研修セミナー (大学行事)
- H26.11.09 (日) 家族会
- H26.12.14 (日) 市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘カントリークラブ 8組
- H27.01.17 (土) 市整会新年会 ANAクラウンプラザホテル (エーザイ・学術講演のみ共催)
- H27.02.28 (土) 市大整形外科同門会
- H27.03. (土) 諮問委員会
- H27.03. (土) 市整会学術講演会 (小野薬品)
- H27.03. (土) 理事会・市整会フォーラム (久光製薬)
- H27.04.25 (土) 市整会総会 天王寺都ホテル (旭化成ファーマ)

市整会  
平成25年度収支決算書  
平成26年度予算書

平成25年度決算書

(自) 平成25年4月1日

(至) 平成26年3月31日

平成26年度予算書

(自) 平成26年4月1日

(至) 平成27年3月31日

## 平成25年度収支計算書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

### 1. 収入の部

科目	平成25年度予算額	平成25年度決算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	5,190,000	5,265,000	75,000
第2項 特別会費	1	0	-1
小計	5,190,001	5,265,000	74,999
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入（預金利息、紹介状代）	2,000	7,541	5,541
第2項 寄付金収入	1	0	-1
第3項 その他の収入	400,000	927,000	527,000
小計	402,001	934,541	532,540
<b>当期収入合計</b>	<b>5,592,002</b>	<b>6,199,541</b>	<b>607,539</b>
繰越金	7,780,870	7,780,870	0
<b>合計</b>	<b>13,372,872</b>	<b>13,980,411</b>	<b>607,539</b>

### 2. 支出の部

科目	平成25年度予算額	平成25年度決算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	400,000	44,237	-355,763
第2項 事務用品費	20,000	3,780	-16,220
第3項 渉外費	100,000	0	-100,000
第4項 事務弁償費	40,000	40,000	0
小計	560,000	88,017	-471,983
<b>第2款 各部活動費</b>			
第1項 総務部	1,300,000	1,085,497	-214,503
第2項 学術部	1,500,000	1,380,629	-119,371
第3項 福利厚生部	1,200,000	912,053	-287,947
第4項 広報部	500,000	316,960	-183,040
第5項 税務部	30,000	0	-30,000
第6項 雑費	30,000	4,410	-25,590
第7項 学術積立金	400,000	400,000	0
第8項 45周年記念事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0
小計	5,960,000	5,099,549	-860,451
<b>第3款 慶弔費</b>	250,000	89,366	-160,634
<b>第4款 予備費</b>	6,602,872		
<b>当期支出合計</b>	<b>13,372,872</b>	<b>5,276,932</b>	<b>-8,095,940</b>
次期繰越金		8,703,479	
<b>合計</b>	<b>13,372,872</b>	<b>13,980,411</b>	<b>607,539</b>

(8)

## 内 訳

### 1. 収入の部

---

---

会員	176/202名 (H26.3.31現在、閉院・閉院扱い28名、未納0名、2名2年分、1名半期分、1名前年度に入金済み)	
	$30,000 \times 175.5 =$	¥5,265,000
利息	医師信用組合普通	¥1,169
	三井住友銀行普通	¥372
	合計	¥1,541
紹介状代		¥6,000
その他の収入	学術講演会参加費	¥927,000

---

---

### 2. 支出の部

---

---

#### 事務費

第1項 通信費	FAXネット	¥33,017
	切手代等	¥11,220
第2項 事務用品費	封筒代等	¥3,780
第4項 事務弁償費	総務	¥20,000
	会計	¥20,000

---

#### 各部活動費

第1項 総務部	会議費	¥53,000
	新年会バンド	¥250,000
	新年会全日空ホテル	¥387,427
	ホームページ管理費	¥276,360
	プレート代	¥10,500
	封筒・名簿印刷代	¥108,210
第2項 学術部	大学医局出張費援助	¥1,000,000
	文化講演(伊藤不二夫先生)	¥200,000
	会場費 (H25.11.16)	¥85,140
	日整会単位登録関係	¥95,489
第3項 福利厚生部	市整会ゴルフ	¥360,906
	家族会	¥551,147
第4項 広報部	会報等印刷代	¥268,800
	郵送費	¥48,160
第6項 雑費	振込手数料	¥4,410

---

---

## 平成26年度予算書

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

### 1. 収入の部

科目	平成25年度予算額	平成26年度予算額	増減
<b>第1款 会費収入</b>			
第1項 本会費	5,190,000	5,220,000	30,000
第2項 特別会費	1	1	0
小計	5,190,001	5,220,001	30,000
<b>第2款 雑収入</b>			
第1項 雑収入（預金利息等）	2,000	2,000	0
第2項 寄付金収入	1	1	0
第3項 その他の収入（学術講演会参加費等）	400,000	400,000	0
小計	402,001	402,001	0
<b>当期収入合計</b>	<b>5,592,002</b>	<b>5,622,002</b>	<b>30,000</b>
<b>前期繰越金</b>	<b>7,780,870</b>	<b>8,703,479</b>	<b>922,609</b>
<b>合 計</b>	<b>13,372,872</b>	<b>14,325,481</b>	<b>952,609</b>

### 2. 支出の部

科目	平成25年度予算額	平成26年度予算額	増減
<b>第1款 事務費</b>			
第1項 通信費	400,000	400,000	0
第2項 事務用品費	20,000	20,000	0
第3項 渉外費	100,000	100,000	0
第4項 事務弁償費	40,000	40,000	0
小計	560,000	560,000	0
<b>第2款 各部活動費</b>			
第1項 総務部	1,300,000	1,300,000	0
第2項 学術部	1,500,000	1,500,000	0
第3項 福利厚生部	1,200,000	1,200,000	0
第4項 広報部	500,000	500,000	0
第5項 税務部	30,000	30,000	0
第6項 雑費	30,000	30,000	0
第7項 学術積立金	400,000	400,000	0
第8項 45周年記念事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0
小計	5,960,000	5,960,000	0
<b>第3款 慶弔費</b>	250,000	250,000	0
<b>第4款 予備費</b>	6,602,872	7,555,481	952,609
<b>合 計</b>	<b>13,372,872</b>	<b>14,325,481</b>	<b>952,609</b>

## 監査報告書

平成 25 年度市整会（大阪市大整形外科開業医会）の  
歳入歳出につき、平成 26 年 4 月 10 日慎重監査い  
たしましたところ適正に処理、管理されたことを認め  
ます。

平成 26 年 4 月 26 日

監事 寺川 文彦 

監事 黒田 晃司 

## 平成26年度 市整会役員

会 長	鳴嶋 真人 (54)					( )内入局年
副 会 長	安田 浩成 (54)	増田 博 (57)				
会 計	柳井 尚浩 (57)					
総 務	斧出 安弘 (56)					
名誉会長	伊藤 成幸 (25)	吉中 正好 (36)	長田 明 (38)	榎本 高明 (39)	南平 克積 (46)	
	頼 功 (49)					
顧 問	宮内 貴 (31)	上田 晏弘 (37)	吉川 秀明 (39)	黒田 晃司 (46)	楯 憲一郎 (52)	
議 長	前野 岳敏 (41)					
副 議 長	南平 克積 (46)					
監 事	黒田 晃司 (46)	寺川 文彦 (57)				
理 事	有馬 英之 (28)	妻鹿 利和 (31)	吉田 洋 (31)	反田 英之 (33)	石崎 嘉昭 (37)	
	若林 亘 (38)	中野 博友 (39)	三明 靖昌 (39)	畠中 正昭 (40)	奥田 好彦 (44)	
	越宗 正晃 (44)	近藤 正樹 (46)	楠 正敬 (48)	林 正樹 (51)	吉田研二郎 (51)	
	西上 茂樹 (54)	増田 宗義 (54)	呉家 守二 (54)	飯田伊佐男 (54)	和田 健志 (54)	
	佐藤 哲也 (54)	中村 薫 (55)	宮脇 裕二 (55)	坂本 和彦 (56)	斧出 安弘 (56)	
	田中 直史 (56)	天野 祐一 (57)	馬野 隆信 (58)	柴田 和弥 (59)	阪本 博史 (59)	
	長濱 信一 (59)	古瀬 洋一 (60)	黒澤 克也 (60)	宮内 晃 (60)	上野 憲司 (60)	
	山下 豊 (61)	調子 和則 (61)	西澤 徹 (62)	大川得太郎 (62)	伊藤 智康 (63)	
	小堀 肇彦 (H2)	湊 康行 (H2)	桑野 吉浩 (H4)	日下 昌浩 (H5)	木下 裕介 (H7)	
	高尾 泰広 (H7)	鱧永 浩 (H7)	森川献志漢 (H8)	小竹 志郎 (H11)	妻鹿 良平 (H11)	
	明石 健一 (H11)					

## 役員職務分掌

福利厚生 担当副会長	安田浩成				
福利厚生担当理事	◎長濱 信一	○木下 裕介	増田 宗義	和田 健志	田中 直史
	湊 康行	上野 憲司	大川得太郎		
学術並びに健保・労災・診療 担当副会長	増田 博				
学術担当理事	◎宮内 晃	○小竹 志郎	西上 茂樹	飯田伊佐男	古瀬 洋一
	西澤 徹	佐藤 哲也	明石 健一		
健保・労災・診療 担当理事	◎天野 祐一	○伊藤 智康	佐藤 哲也	坂本 和彦	馬野 隆信
	上野 憲司	大川得太郎	西澤 徹	小竹 志郎	日下 昌浩
総務・広報 並びにIT委員会 担当理事	斧出 安弘				
総務担当理事	◎森川献志漢	阪本 博史	日下 昌浩		
広報担当理事	◎宮脇 裕二	○木下 裕介	西澤 徹	小堀 肇彦	黒澤 克也
	山下 豊	桑野 吉浩	高尾 泰広	妻鹿 良平	鱧永 浩
IT委員会	◎森川献志漢	○小竹 志郎	宮脇 裕二	天野 祐一	調子 和則
	木下 裕介	伊藤 智康	明石 健一		
諮問委員会	鳴嶋 真人	楯 憲一郎	増田 博	榎本 高明	南平 克積
	黒田 晃司	頼 功	安田 浩成	宮脇 裕二	天野 祐一
	柳井 尚浩	宮内 晃	森川献志漢	長濱 信一	斧出 安弘

(12)

#### 健保・労災・診療担当理事の新設について（鳴嶋会長）

これまでの「健保・労災担当理事」を、「健保・労災・診療担当理事」と言う名前にして、診療にかかわる会員の資質向上に関する情報を集めて、会員への相互扶助を一層高めるための組織づくりをしたいと考えている。その目的と内容について、下記に記す。

#### ※健保・労災・診療担当理事の目的並びにその内容

目的：日常診療に役立つ情報収集に努め、会員の資質 向上のために周知し、相互扶助の精神に基づいて、親睦を深めるものとする。

内容：①会報に掲載 2回/年

学会、研究会などで集めた先輩、知人の情報などを会員に周知する。

出典は問わない。投稿依頼することも可。

診療とは診断学と治療学であります。

無床診療所の場合、有床診療所、病院以外では看護、手術は除かれている分だけ、診療に特化されており、その分専念し、技量、向上にもっと研鑽すべきであることを内容とする。

②（日常診療研究会）仮題 1回/年の開催（久光製薬）

1～2名の講師を選定して目的を果たす。介護、在宅、リハビリなどを包括して研究する。

#### 具体的内容について

##### 保険担当の勉強会の内容について

- ・本年は手始めに、10月25日（土）に、『これからの「整形外科のかたち」を考える』と言う講演会を開催する。
- ・この講演会は、久光製薬にバックアップをしていただく事が、決定している。
- ・この講演会は、毎年1回行う事とする。
- ・この会は、とりあえずクローズドの講演会として、市整会の先生方のみにご案内することとする。

## 宮内 貴先生を偲ぶ

木下 孟 (昭和28年入局)

定宿のように利用している琵琶湖畔の雄琴荘に集まって、「鴨鍋」を囲んだのは総勢、8人、比良山系の主峯、武奈を楽しもうと集まった面々である。皆、市大整形外科の同門である。岩瀬久雄先生の呼びかけに応じて、1年に1度、毎年欠かさず、初冬から早春の季節にかけて1泊2日の山行を楽しんできたが、この冬の武奈山で30年にもなっていた。この山行にひょっこり顔を見せたのが宮内貴先生であった。平成9年3月のことであった。

「…曇りっぽい空が晴れあがって、武奈の平坦な稜線が樹林の間に見え隠れしていた。八雲平を上がり下りしてスキー場に出た。ベトベトした雪でスキー客もまばら、もうシーズンは終わったようである。スキー場を横断し登りにかかった。快調なペースで、11時頃、1214メートルの頂上に到達した…山行記録から」

この武奈ヶ岳は我々にとってホームグラウンドのような山であり、昭和61年以来これまで5回を数え、宮内先生とも今回と平成16年、2回の登山に同行している。「われわれのホームによこそ」

という思いで鍋をかこんだものである。昭和61年、山麓駅から釈迦岳へのリフト、さらに山上駅までゴンドラが敷設され、我々流の1日山行が容易になったからである。残念なことには、2004年、リフト、ゴンドラを運営していた会社が廃止したことである。当時、リフト、ゴンドラの存続、嘆願の署名運動が行われていて、我々も署名に加わり存続を願ったが、この願いは叶わず、我々の武奈への1日山行は途絶えてしまったのである。その後もゴンドラ設置の声は高かったが、自然保護、環境破壊の圧倒的な声に押されて実現していない。

平成9年3月、子の時の武奈ヶ岳はすっきりと晴れ、実に楽しい山行となったが、その後、1年に1度、宮内先生との同行が約10年続いた。武奈に始まり、三尾山、石鎚山、皆子山、赤坂山、丹沢、赤坂山、大峰山、綿向山、武奈ヶ岳、小谷山、峰床山、那須ヶ原山、金クソ岳と続いたが、腰の調子が悪いとの事でその後、顔をみせぬようになってしまった。

宮内先生は桃山分院のインターン生をへて、昭和31年に入局している。昭和30年頃から、整形外



金糞岳頂上にて(1317M) 平成19年11月25日  
向かって左から、東、竹村、岩瀬、宮内、榎本、木下、奥田の各氏

(14)

科の新設、人員の拡充が盛んとなり大学への医師派遣の要請が増し、教室の人員は多ければ多いほど良いという状態になっていた。昭和28年入局の私は無給の研究生であったが、入局勧誘にいろいろ知恵を絞らされた。毎年、数人だった入局者は昭和30年、31年と毎年10数人を数え、一挙に大所帯になり、賑やかになった。同時に関連病院との交流が盛んとなり、医局員の移動が増していった。昭和31年助手に、翌年国立病院に出向した。当時、宮内先生との付き合いはほとんどなかったと思う。

宮内先生と親しくなるのは、やはり、山が取り持つ縁である。先生の言葉を借りよう。「…大阪市大整形外科に入局してから2年目、当時の医局長の木部先生と木下先生から大台ヶ原、大杉谷に行きませんかとお話があり、石田、竹村両先輩と同行することになった。山と名のつくところに登るのは初めてのことであった。：：：：：同窓会会誌より」

宮内先生は謹厳、実直な人である。山は常に晴れやかで、にこやかではない、天候が崩れ、雨になり、風も強くなる、難所も多い、荷物も重い、しかし、先生はどんなにつらくても、厳しくても

決して弱音を吐かない、愚痴をこぼさない。軽い笑顔を絶やさない。そして、多弁ではない。むしろ、寡黙である。

こういうお人柄が、市整会や同門会の活動を通じて、多くの人に安心と勇気と希望を与えたものと思っている。同門会の記録から其の一端を知っていただこうと思う。

昭和58年、同窓会の中に、他大学や他教室には類を見ない、同窓会員による奨学金制度の発足が提案され、可決されたが、問題は如何に金を集めるかであった。同窓会員による拠出金制度を採用することに決まり、基金運営委員会が発足、其の努力の甲斐があって、貸与額、累計5000万円余、研究費貸与額は累計で3000万円余にも達した。その中心的役割を果たしたのが宮内先生である。さらに、その後、10年もの長きにわたって同門会奨学基金の運営にご努力いただいたのである。

縁の下の力持ちという言葉がある。人の見えないうところ、人の気付かないところに目を配り、人のために、影で苦勞し、努力する人を言うが、まさに、宮内先生の人生、そのものであったと思っている。



金萇岳頂上にて(1317M) 平成19年11月25日

## これからの整形外科のかたちを考える会、について。

健保労災診療担当理事 天野 祐一

今を去る2003年3月に、市整会の健保、労災担当の主催で「市整会会員による会員のための勉強会」を開催しました。

医療経済、医療トピックス、介護保険、在宅医療について、12人の会員の先生方にご講演頂き、会員70人の参加をいただきました。

当時は介護保険も黎明期で、色んな事業を展開していった時期だったと思います。

あれから11年経ち、医療、とりわけ整形外科を取り巻く環境が厳しくなる中、鳴嶋会長から、診療の実践に役立つ内容で勉強会を企画せよとの指令を受けました。

そこで、若手の先生方に沢山加わっていただき、健保労災に診療のジャンルが加わった担当部署になり、年に一回、診療実践に役立つ実質的な勉強会を開催すべく企画を致しました。

今年は、すでに10月25日土曜日4時から、難波のホテルモントレグラスミアにて、「これからの整形外科のかたちを考える」としまして、在宅医

療の現状と課題について城東区の内科の池尻 真康先生にご講演を。

介護保険分野の可能性を探るとして、市整会会員の秋野 一男先生、増田 博先生、馬野 隆信先生、喜多 義将先生に講演とパネルディスカッションをしていただきます。

二回目以降の企画は若手の先生方に下駄を預ける予定ですが、一日600人の外来患者さんが殺到する診療の謎や運動療法に特化し股賑をきわめるリハビリのシステムなど、演題の候補はメジロ押しです。

2025年まで高齢者人口は増え続けるとはいえ、高齢者の自己負担が無かった時代はとうに去り、自己負担に対する費用対効果の要求がシビアな世帯を迎えています。

医療、介護の垣根が低くなりつつある今、先生方は何を考えて次の一手を模索しているのか、忌憚のない意見交換の場になれば良いと考えています。



## 骨粗鬆症の薬って????

桑野 吉浩 (平成4年入局)

最近、健康志向の雑誌が本屋やコンビニの棚に並んでいるのをよく見かける。その中には、骨粗鬆症関連の雑誌も少なくない。たぶん整形外科学会、特にロコモティブシンドロームについての広報活動が大きな役割を果たしていると思われる。他に例を見ない超高齢化社会を迎える日本では、骨粗鬆症による骨折が原因で、寝たきりになる患者が増えないか心配の種である。そんな心配を裏付けるような研究は、既にある。欧米や北欧等では骨粗鬆症治療薬の普及により、大腿骨頸部骨折等の発生率は減少しているのに、日本では増加しており、(それだけでなく急速に超高齢化社会が来るというのにである。)このままでは、大腿骨頸部骨折の手術の機会は増えていく一方である。そうならないよう、もっと若いときから、転倒しても骨折しない体にする必要があるのに、予防的な治療はなかなか進まない。なぜだろう？

すでに骨粗鬆症が進行している場合、ある程度活動的な運動量があり閉経後間もない女性は、転倒すると手首を骨折する。もう少し年齢を重ねるとバランスが悪くなり尻餅をつき、脊椎の圧迫骨折をきたしてしまう。骨粗鬆症がもっと進んで、より高齢な場合では、大腿骨頸部骨折を引き起こしてしまう。このドミノ骨折がおこらないうちにもっと介入すべきなのであるが、日本人は、先送りする気質なのか、のど元過ぎれば、という感じになってしまいがちだ。ガイドラインにそって、骨粗鬆症患者を選別し、薬剤を投与しているにもかかわらず、やめてしまう事が多い。

この薬は、『いつまでのむんですか？』『高血圧や内科の薬を一杯飲んでから、骨粗鬆症の薬は飲みたくない。』『内科の薬は、飲み忘れると血圧が上がるし、怖いので、、、』『痛くも痒くもないから飲まなくてもいいのかなあ？』と思って』『歯の治療をするからやめました』患者さまからこのような言葉を聞いた時に呆然としてしまう。

このような人がいると、『寝たきりの原因のうち3分の1が骨折によるものですよ、脳血管障害

によるものと、それほど差が無いんですよ』『10万人に一人にしかおこらない顎骨壊死にも治療方法があります。』と長々説明していますが、僕の言葉に説得力が無いのでしょうか、、、？経過を見ていると私のクリニックでも 内服の脱落は、1年で半分残っているかどうかという研究結果と同様です。もっと深刻になるべきは、患者でなくて骨粗鬆症を扱う医師側ではないか。

もっと強い調子で、整形外科医が(ちょっとばかし脅しがいってもいいから)多発椎体骨折や大腿骨頸部骨折をおこして、寝たきりになる可能性を、深刻に警鐘を鳴らす事しかないと思うのである。

勤務医時代には、骨粗鬆症による骨折をたくさん治療していた事もあり、開業医になったら手術ではなく骨折しないよう早期に介入する必要があると思っていた。そこで、まあまあ積極的にいろいろな薬を取り入れています。

現在日本で、使用可能な薬だけでも以下のような種類がある。

1. ビタミンD3
2. ビタミンK
3. カルシトニン製剤
4. SERM
5. Bis剤
6. デノスマブ
7. PTH製剤

骨粗鬆症のガイドライン等参考にして、『さあ、この患者にはいったいどれがいいんだろうか？』と考えて、『この人にはこれだ!!』と思う製剤をチョイス。

閉経早期の女性ならSERM、70才以上でやや進行した人ならBis剤、逆流性食道炎があったりすると、デノスマブ？

重症骨粗鬆症で椎体骨折があったりすると、PTH製剤

また、日本人のほとんどが、Ca摂取量が少ない等聞くと、Ca製剤かビタミンD製剤の併用はどうか。

さらに、生活習慣病（糖尿病、慢性腎機能障害）、ステロイド剤の内服の事、家族歴、等等いろいろ考慮して、決定している。患者に説明して、投与を開始。がんばって半年間は薬を続けてもらって、半年後楽しみに骨密度測定してみる。その結果、やや増加もしくはほぼ維持しているならいいのだが、測定値が低下していると、患者はもちろん、私も、ショックは隠せません。何でや???ちゃんと飲めてるはずなのに???先輩先生方には、こんな経験はないですか?

こんなときは、患者に『すみませんが、』と、採血させてもらっています。ucOC, P1NP, TRACP-5b, PTH, Ca, IP等をチェックして、どこかに異常がないか調べます。そして、効果が見られない薬だと、続けるモチベーションにもならないですから、より強い効果が出るであろうもの

にチェンジします。

僕は、モニターが保険で使えるようになれば、もっと細かく骨粗鬆症の状態の把握が出来るのではないかと思っています。

釈迦に説法になりますが、骨強度＝骨密度（7割）＋骨質（3割）と云われていて、密度は骨塩定量すれば、はっきりしています。しかし、現在骨質については、何種類かは、採血してモニター出来るものがありそうだが、保険で認められるモニターは無いようで、ここが弱点と思っています。

このところ骨粗鬆症について思う事を、とりとめもなく書きましたが、結局、自分自身の迷いを綴っただけになりました。先生方、これ!!という解決法があれば教えてください。

よろしくお願いします。



## 自己紹介

岡垣 健太郎 (昭和49年入局)

昭和47年大阪市大医学部卒業し、国立大阪南病院、国立田辺病院、大阪府立身体障害者福祉センター、馬場記念病院で主に人工関節を行ってきました。

昨年9月に馬場記念病院を退職し以後頼整形外科クリニックで頼先生と診療を行っています。

頼先生に市整会に入会するよう勧められ、入会をお願いいたしました。

ずっと勤務医で手術中心の勤務でしたので、開業医の診察など慣れないことが多いですが、頼先生に迷惑かけないように、会員の方々のご指導をお願いいたします。

気が付けば頼先生も私も結構な年になっていますが、二人で出来るだけ長く診療を続けていきたいと思っています。

趣味は特にありませんし、スポーツは寝返りをするぐらいです。

好きなものは強いて言うなら、日本酒位です。地酒は学会に行くたびに、その地方のお酒を買って帰って楽しんでいます。

また、私の通勤のバス停近くに河内長野の地酒(天野酒)のアンテナショップ(なまくら)が有りまして殆ど毎晩通っています。体に悪いです。河内長野にお出かけの際には一度お声をかけてください。

### クリニックの勤務形態

月曜日	午前診	頼	午後診	岡垣
火曜日	午前診	岡垣	午後診	頼
水曜日	休診			
木曜日	午前診	岡垣	午後診	頼
金曜日	午前診	頼	午後診	岡垣
土曜日	午前診 岡垣			
午前診	9:00~12:00			
午後診	4:30~7:00			

## 自己紹介

中之島いわき病院 岩城 啓好（平成3年入局）

市整会の先生方、H.3卒の岩城と申します。10年近く大学で関節外科をさせて頂いた後にH.25.7.に大阪の福島にある手島病院の事業を継承し、H.25.8.より中之島いわき病院としてスタートしました。このたびは栄えある市整会の会員になることができ、本当にうれしく思っております。当院は急性期66床と緩和ケア病棟32床の計98床の病院です。整形外科5名、内科2名、麻酔科1名の計8名の医師が勤務しておりますが、近々、後期研修医1名と整形外科医師1名と麻酔科1名が来られる予定となっております。整形外科手術を中心とした病院を目指しており、小生が大学時代から専門としていた膝、股関節外科、元大阪厚生年金病院部長の米田稔先生には肩関節外科、元大分医大准教授の近藤誠先生には膝関節外科、大学と一緒に働いていた吉田先生、横先生には外傷外科、股関節鏡、関節外科などを担当して頂いており、まもなく開業1年となりますが、人工膝、股関節が月に約20～30例ほど、肩関節鏡が月に10～15例となり、外傷を含めると月に60～70例ほどとなってきました。さらに手術数増加に対応すべく今年中に手術室を1室増設する予定です。市整会の皆様方には大学時代より多数の患者様の紹介を頂き大変感謝しております。近隣には、大草先生、南先生、國重先生ら大先輩が市整会の会員でおられ、病診連携で大変お世話になっており、心強く思っております。しかし現在の問題としては急性期が66床と多く、病床を埋めるのに大変苦労しており、病床利用率は60～70%と低迷しています。60日まで入院できる地域包括ケア病棟もあるため、

安静目的や外傷を含め、入院加療の要のある患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介くださると幸いです。旧年金病院、関電病院、住友病院など大手の病院に囲まれながらも、専門性の高い、高度医療の提供できる病院にしていきたいと考えておりますので、今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

中之島いわき病院

〒553-0003 大阪市福島区福島3-2-9

整形外科 午前診；月～土9～12時半

夕方診；月～金16～19時

お問い合わせ先

TEL 06-6458-3151 FAX 06-6458-3155

地域医療連携室（担当者 下山・三浦）（直通）

FAX 06-6458-3555



## 自己紹介

きょう整形外科・神経外科クリニック 姜 良勲（平成7年入局）

平成7年入局の姜 良勲（きょう よしのり）と申します。このたび、脊椎・末梢神経に特化した専門クリニックとして「きょう整形外科・神経外科クリニック」を開院し市整会に入会致しましたので、自己紹介させていただきます。場所は阪神尼崎駅前です。電車でも車でも交通の便の至極良いところであります。（写真①）

当院は平成25年12月にまず無床診療所として開設し、準備期間としての4か月経過ののち、本年4月に有床診療所（5床）として本格始動致しました。

6/18現在の脊椎手術数です

腰椎椎間板ヘルニア23例

（PELDまたは顕微鏡下摘出術。いずれにおいても全例術当日または翌日独歩退院しています）

腰部脊柱管狭窄症23例

（顕微鏡下除圧術22例 1椎間～3椎間と様々ですが 術翌日～術後4日までの退院が21例、1例のみ術後遺残症状あり再手術し10日間入院。他に脊椎制動術<X-STOP> 1例は翌日退院。）

頸椎OPLL 1例 術後4日目に軸性疼痛も無く退院。

頸部脊柱管狭窄+椎間孔狭窄 1例 術後4日目退院。軸性疼痛軽度有り。

胸椎偽関節1例（椎体形成術）術後2日目退院。

胸椎ヘルニア 1例（椎弓切除術+PETD）術後3日目退院。

その他、末梢神経としてはECTR（内視鏡下手根管開放術）を5例ほど外来手術でしております。

麻酔医は大阪市大麻酔科より公的に派遣して頂いており、火曜日に土屋正彦准教授に来て頂いています。土屋准教授はPELDの麻酔について私と共著の英語論文を執筆されています。

木曜日の麻酔は元大阪大学講師の福岡哲男先生に個人的に来て頂いております。

当院の手術室は脊椎内視鏡手術への対応としては日本一と言っても過言でない最高峰の手術室です。詳細はホームページを見て頂ければ嬉しいです。



なお、CTは関西第一号機の最新型マルチスライスCT Supria（日立製）を導入しております。

MRIは徒歩1分のクリニックに多く依頼しておりますが、もともと他院で治療を受けている患者さんが多く、画像データを持参される方が多いです。ご紹介時に、MRIを既に取りられている場合はできるだけ持参させて頂ければ助かります。

当院の売りは腰椎椎間板ヘルニアに対するPELD（経皮的内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術）であることをご存知かと思います。PELDについては7年前から国内外で研鑽をつみました。写真②は韓国のウリドゥル病院（年間脊椎手術2万件の世界有数の脊椎センターです。5年前の整形かわら版No.67の私の報告をご参照下さればと思います。）でイ・サンホ理事長から指導を受けている私の写真です。日経ビジネスで取材を受けた時のものです。写真③は左端が私、中央がアメリカのDesert Institute for Spine Care (DISC)のアンソニー・イェンです。右端はあいち腰痛オペクリニックの伊藤理事長です。勿論、日本の第一人者の帝京大学出沢教授にもご指導頂き懇意にしております。開院後はPELDで有名な筑波大学坂根正孝准教授をはじめ施設見学に来られる先生は多いです。私、三重大学の非常勤講師も務めておりますが（出身大学なのです。）、三重大学笠井裕一教授もお見えになりました。

ただPELDは一つの手技に過ぎず、やはり基本は顕微鏡手術だと考えております。顕微鏡は電磁

ロックのライカ社製の顕微鏡です。ともすればせっかく顕微鏡を使っているのに大きく剥離展開して定点観測的に拡大してるだけの先生がいます。顕微鏡は電磁ロックであらゆる角度に自由に動かすこと、倍率を適宜変えることで必要最小限の剥離展開で手術は可能です。(清恵会の坂中先生に教わりました。) 狭窄症も1椎間の片側進入両側除圧は皮切2.5cmです。1椎間なら術翌日に退院されています。ドレーンは術翌日に抜去しています。2日間入れるようなことはありません。顕微鏡のヘルニア摘出術なら出血ほぼなくドレーンを入れないこともあります。

私はAPCSS2011のInternational Faculty Membersに選ばれ海外招待講演もしていますが、先日は笠井教授の依頼でタイ人医師が私の顕微鏡手術の見学に来ました。PELDも見学したいと言われていましたが、手術予定と日程が合いませんでした。

なお、PELDは昨今、学会で問題視されているPLDD(レーザーのみの治療)とは全く異なるものです。レーザー治療は諸外国では現在、内視鏡下にレーザーを併用し良好な成績が報告されていますが、レーザー単独では効果があまり無いことは専門家の中では良く知られた事実です。レーザーのみの治療は病変部位から遠い健全な椎間板中央を凝縮して間接的に除圧を図るものです。手技的に簡単なのですが、勿論、間接的ですから成績は悪いですし、良い所を駄目にして神経と隣接した

肝心なところは危なくてできない。内視鏡手術との差です。非専門医がこうした治療を自費診療で行っているケースがあります。学会でも問題提起されています。レーザーによる神経不可逆性損傷例、自費のレーザーで治らず保険診療の一般病院で再手術を受けて初めて治癒する例、はたまた適応外に施行されているだろう例(ヘルニアの9割は保存治療で治癒します。ヘルニアどころか高度のOPLLに施行している例など、本当に彼らのやっていることは犯罪同然です。)など。

長文になっているので、この辺で稿を終えます。クリニックの詳細はホームページをご覧ください。幸いです。「きょう整形 尼崎」で検索すればすぐに出てくると思います。

(<http://kyoh-clinic.com/>)

私のメールアドレスはhae10940@ams.odn.ne.jpです。メールでもお気軽にお問い合わせください。

紹介状を書いていただける場合、姜(きょう)の文字がパソコンで出ない場合は、

「生姜(しょうが)」と打って頂き、「生」を消去して下さればと存じます。

なお、現段階では生活保護、労災、交通事故患者に関しては診療対応しておりません。常勤医一人では対応しきれないのが現実です。申し訳ありませんが、よろしくご理解の程、お願いいたします。



## 家族会のお知らせ

### ~~~~伊賀上野忍者の里観光~~~~

日時：平成26年11月9日（日）

今年の家族会は、忍者の里の伊賀上野観光を予定しています。私の幼少の頃のヒーローといえば、ウルトラマン、仮面ライダーなどがありますが、それと同じくらいのヒーローとして、伊賀の影丸、サスケ、仮面の忍者赤影、カムイなどがいました。外人さんも忍者には精通されており、NINJAで通ります。

今回は、忍者の里である伊賀上野に行き、幼少の頃に帰って忍者体験をしていただこうと思います。伊賀上野で忍者に変身していただき（忍者装束に着替えます）忍者屋敷を訪ねます。また、俳聖といわれる松尾芭蕉は、伊賀上野の生まれで、実は忍者であり俳人は仮の姿で、諸国の隠密活動を行っていたという説もあります。芭蕉の生誕300年記念館である俳聖殿及び芭蕉の生家を尋ねます。

忍者の副業として組みひも作りがあります。組みひもは甲冑や和服で使われる装飾品で、伊賀上野の名産となっており、組みひも作り体験をしていただきます。

食事は創業二百年の純和風料理旅館の三田清で伊賀牛懐石を堪能していただく予定です。伊賀牛は和牛の横綱といわれる良質の黒毛和牛ですが、その8割が地元で消費され、なかなか食べることができません。

忍者体験、松尾芭蕉の生家、組みひも作り体験、伊賀牛懐石と、今年も十分に楽しんでいただけるよう予定致しますので、ぜひ参加をお願い致します。

なお、詳細は9月に入ってから、改めてご案内させていただきます。皆様どうぞ家族そろって、家族会を楽しんで下さい。

（福利厚生担当 大川 得太郎）



## 芭蕉おさらい

天野 祐一（昭和57年入局）

寛永21年（1644）伊賀上野の南側に地名として残る柘植一門の元無足人の父の次男として生まれる。19歳の時、藤堂家家臣新七郎良精の子息、藤堂良忠の奉公人として召し抱えられた。この二歳年かきの若君は貞門俳諧の北村季吟の門下生であり、俳号は蟬吟。ともに俳諧に精進し貞門流祖の追善句会なども催し、将来も約束されていた。

ところがこの若君が急死し任用は解かれた。芭蕉23歳にして人生の無常を思い知らされたであろうか。京にある北村季吟のもと、住み込みで働き、29歳まで雌伏し、処女句集であり俳句指南の手引書でもある「貝おほひ」を刊行、これを引っさげて延宝2年（1674）江戸へ向かうのであった。

大阪には二歳年長の巨人、井原西鶴がおり、俳諧大矢数などで大盛り上がり。京都には師匠筋の季吟。致し方のない選択か。

江戸では大手通の御用商人などの知己を得つつ、俳句点者として地歩を固め、貞門から徐々に談林俳諧に転じ、俳句宗匠として確立してゆくが、39歳の時、日本橋から隅田川を越えた、もの寂しい深川へ隠棲する。俳句の点者宗匠としての安定した生活を捨て、蕉風オリジナルの俳句の境地追求がはじまる。

野ざらし紀行、鹿島紀行、笈の小文、更科紀行と過ぎて、（勿論その間橋の下を沢山水が流れ）、いよいよ元禄2年、芭蕉46歳の時、おくのほそ道へと旅立つのであった。

深川芭蕉庵も旅費のため処分し、憧れの西行法師や、旅の歌人と呼ばれる能因法師（百人一首では 嵐吹くみむろの山のもみじ葉はつつたの川の錦なりけり）の訪れた歌枕、遊行柳、白河、象潟など、を訪ねる旅であった。

半年にわたる旅を終えた芭蕉は、更に5年の推敲を重ね「おくのほそ道」を刊行。

漢文調と和文調を織り交ぜ、名文の韻を踏みつづ本邦初の文学と紀行文の合体、昇華をみる傑作となった。

この伊賀上野の地にも生涯にわたって何度も帰省しており、芭蕉翁生家、貝おほひを奉納した上野天神宮、伊賀上野の門人の服部土芳の蓑虫庵、芭蕉翁記念館など、そこかしこに芭蕉の息づかいを感じる。

伊賀上野赤坂にある芭蕉翁生家のパンフレットにも、

「代代の賢き人々も、古郷はわすれがたきものにおもほへ侍るよし、、、古郷や臍に緒の泣としのくれ」とある。

この芭蕉翁生家にある釣月軒の机で、あるいは明かり採りの小窓から月を眺めながら、340年前に芭蕉は句作に励んでいたのか、と芭蕉に思いを馳せつつシンクロ出来る、ような気がする場所である。

秋の市整会家族会では、伊賀上野城、美味しい伊賀牛のお店とともにぜひ訪れたいところである。

## 今年の家族旅行は伊賀です。

宮脇 裕二（昭和55年入局）

「江戸の隠密渡り鳥、雲と流れて西東、荒野の草を夕日が染めりゃ、またもにじむか血しぶきが――」ときて何の歌かすぐにわかるようでしたら、あなたはかなりのテレビッ子あるいは忍者ファン。そうです隠密剣士なのです。ここでの時代は江戸時代ですが、一番忍者の活躍したのはやはり市川雷蔵主演“忍びの者”の時代、つまり、織田信長が伊賀に攻め入った天正伊賀の乱ということが言えましょう。

この時代、伊賀惣国一揆と呼ばれる土豪の自治共同体が形成されていて、その中でも有名な上忍3家、つまり藤林家、百地家、服部家の発言力が強かったとされています。映画“忍びの者”では百地三太夫（百地丹波、近年別人ともいわれているが）と藤林長門守は同一人物であったとの設定です。服部家は言わずと知れた服部半蔵の出た家です。第1次天正伊賀の乱では、織田信長の次男、信雄が伊賀忍者の活躍により大敗を喫してしまい、これに激怒した信長が大群を率いて、第2次天正伊賀の乱が始まることとなります。この際、伊賀者の中にも裏切る者が現れ、彼らが織田方の道案内をした結果、伊賀者が立てこもった城（砦）は次々と落ち、伊賀の乱は終焉を迎えることとなります。伊賀勢の頭領、百地三太夫は柏原城に立てこもり、織田軍に抵抗したとされています。百地三太夫の弟子が石川五右衛門ということになっていますが、どうでしょうか？本能寺の変の後、打倒織田政権を目指す一揆が伊賀国に起こり、第3次天正伊賀の乱と言われています。

一方服部半蔵で有名な服部家は家康の三河への逃亡を手助け、いわゆる伊賀越えて功績を上げ、以後徳川に召し抱えられることとなり、伊賀は徳川家康方につき、甲賀衆は豊臣方についたため、伊賀対甲賀の図式が出来上がることになったわけでありました。

伊賀上野は松尾芭蕉の生誕の地として有名ですが、松尾芭蕉も忍者であったとする説があります。その根拠は奥の細道では一日に50kmの距離を歩いたとされています。いくら健脚とはいえ、46歳の年齢で一般人にはきつすぎると思われますが、芭蕉の祖父は天正伊賀の乱で織田軍と戦ったとき

れていますので、幼少期の芭蕉は当然忍者の訓練は受けていたとすれば、これくらいの行脚は十分に可能でしょう。また、旅行の膨大な資金はどこから調達したかという疑問が残ります。伊達藩を密偵していたとすればそれは調達可能ということになりましょう。忍者について書き出すときりがないので、忍者の歴史はもうこれくらいにしておきましょう。

今回市整会の家族旅行が伊賀上野ということで、私の親が伊賀の出身のため、伊賀の名物について少しお話ししたいと思います。

まずはなんと言っても有名なのは伊賀牛で、金谷、森辻、伊藤の三店が有名です。特にあとに2店は祖母が大阪に出てくるときにいつもお肉を買ってきてくれる店で、おすすめかと思います。伊賀肉は地元で消費されることが多いため、大阪では絶対食べられないおすすめ料理があります。これは伊賀肉のお好み焼きで、いわゆる牛玉ですが、伊賀では絶対に豚玉を頼まないように、牛肉が伊賀牛か確認するようにしてください。

次に有名なのは、豆腐田楽です。子供の頃は特別おいしいと思いませんでしたが、串に刺さった豆腐を山椒の利いた味噌で食べる田楽の味が最近になってやっとわかるようになりました。

私が伊賀で最もすすめたいは、湖月堂の丁稚ようかんです。伊賀へ行ったら、肉を買うのを忘れてもこれだけは買ってかえる代物です。丁稚羊羹は京都では竹の皮に包まれていて、丁稚が里帰りする時に持って帰る丁稚でも買える安価な羊羹と言う説と、もう一つは羊羹を作ったあとの鍋に残った羊羹に水を混ぜて作った水羊羹を丁稚さんが好んで食べたと言う説などがあります。何れにしても非常に味の淡白な水羊羹で、京都や大阪にもあるのですが、私が伊賀上野に行ったときには祖母が必ず出してくれたこの湖月堂の丁稚羊羹が最高と思っています。

その他にあげるとすれば、栄玉亭のうなぎ、やたら固いせんべいの“かたやき”、これは柱に打ち付けて割ってから食べる煎餅で、歯で割ることはできません。以上長々と書いてみましたが、楽しい秋のひとつきを伊賀上野で過ごしてください。

## 預金通帳

藤原 良江（昭和44年入局）

いつの頃から多くの人が4～5冊の銀行通帳を持つようになりました。18～19年前でしょうか？いくつかの銀行の倒産が今にも起こるように考えられ、其の時は100万円までは保証されるというようになり、多くの人が預金を分散して預けるようになった。その後銀行同士や、銀行と信用組合等の合併が数多く行われ、今や銀行の倒産はあまり考えられなくなりました。私も7冊の通帳もっています。私の場合は、分散するほどの貯金はありませんでしたが、その時々事情に応じて作り続けた結果であります。

① 三菱東京UFJ銀行…今から50年前の昭和38年大学2年生の時、阿部野橋の三和銀行に初めて通帳を作りました。当時の三和銀行は庶民の銀行と謳われていて確かにそのように思いました。しかし東海銀行と合併をしてUFJ銀行となった頃から少しずつ変わってきたように思います。そして今や三菱銀行、東京銀行と合併を三菱東京UFJ銀行となりました。三菱銀行の出身者が頭取、副頭取になり、庶民の銀行という雰囲気は微塵も無くなったように感じました。だいたい御高くとまった三菱と合併したのが誤りのような気がします。そして、私の行動範囲にあるこの銀行には殆ど駐車場を有しないのであります。又、私の住んでいる大阪狭山市には店舗自体が無く、ATMのみ設置しているところが駅近くに1ヶ所あるだけであります。その駅には徒歩で約40分要するのであります。往復580円のバス代を使って泉が丘駅まで出向くか、さらに南海電車に乗り北野田、堺東、河内長野あるいは難波に出かけないといけません。難波にいたっては往復1460円も要します。これだけの費用を使って何故出かける必要が在るのかと言いたくなります。さらに前述の支店には当然駐車場はありません。少ない利息を考えれば腹立たしくも在ります。2002年東海銀行と合併した時、南海高野線千代田駅にあったUFJ銀行（元東海銀行）は広い駐車場を有していました。自宅からも比較的近く、銀行近くのスーパーに

年2～3回は出かけるので、これからその支店を活用しようと思っていたところ、合併後1年で廃店になり、南海高野線河内長野駅の支店に吸収されました。無論のことその支店には駐車場はありません。

住吉市民病院、住吉保健所勤務時代には、堺北支店を利用しました。この支店には、駐車場が無いけれど阪堺線をはさんで片側四車線の広い道路で端に縦列駐車が出来ました。またこの支店も廃店となり、ATMを10台置いている店舗となりました。今から4年ほど前にここに駐車していて駐車違反で1点と罰金を取られてからは、ここも利用していません。今はもっぱら堺東支店を使っています。ここには駐車場がありますが、結構満車になっていることが多く、辛抱強く待って駐車しています。以上のようなわけで50年間付き合いのある銀行であります。家計簿替わりの銀行としている割には、今やお荷物になりかけているしだいです。

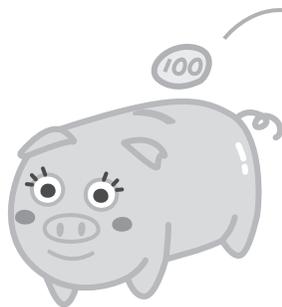
② りそな銀行…住所地の大野台に支店があったので、定年退職を控えて年金やその他の処理に便利かなと考えて作りました。しかしこの銀行も定年後2～3年して金剛支店に吸収されて廃店となりました。この跡にスーパーが進出。多額の預金がある時はよく電話がかかってきて“預金、どうしはるのですか？”お金をどう動かそうと、私の勝手じゃ！と思い目的があるのですと答えていると、また1～2ヵ月後にかかってくることになり、ついには投資信託を買うことになりました。時々3ヶ月定期が高金利になることがあるので、勧められて購入してほって置くと又、電話がかかってきます。だいたい私の家の電話は留守番電話になっていて、そこにちょくちょく掛かってきます。例え在宅していても、電話機に到着したときは、留守番電話になってしまいます。行員さんは自分の勤務評価を上げるために必死になるのは分かりますが、僅かの利息のために、しょっちゅうバス代580

円を使って行く事に、疑問を感じます。外国では預金に対して無利子という国があったように聞きますが、今の日本の様に低金利なら、安全に預かって貰えるだけでありがたいような気がします。ま、この銀行には駐車場はあるが、10台ぐらいなのでここもまた、必ず駐車できるとは限りません。さらに私の嫌う最大の理由は、必ず投資信託を買わされる事であります。おまけに、ポイントを取りに来てくださいとか私にとっては小うるさいのです。利息で預金が増えるわけでもないし、まじめに働いていれば、最低の生活は出来るという気持ちが強いので、私にとっては煩わしいだけであります。最近買わされているのは生命保険会社とつながっている商品であります。なので、読みたくもない書類がどさどさ届くのでゴミが増えるばかりであります。あるとき買わされたものは相場が下がっても、元金の8割を切ると15年間の年金形式になるというものを、500万円で購入したところ、2年ほどして400万円を切った…。結局、年金になった。この時担当者は「15年間置いて500万円弱になりますから、殆ど損はさせませんよ」と行員さんは言ったのにもかかわらず…。その時私は考えた「なぜ、自分のお金を15年間掛けて貰わなければいけないのか？」行員さんの勤務評価汚点にもなっていない。無論、頑張っていることになっているのでしょう。その後りそな銀行から何を言って来ようと、全て無視している。縁を切りたく思っています。

③ 三井住友銀行…この銀行を利用するようになって

たのは、城東保健所勤務時代からであります。でもきっかけがなぜか、はっきり覚えていません。ただこの銀行は預金が1000万円を超えようが何もいってこないで、私としては有難く思っています。以前1000万円を下ろす事があり、事前に電話をして今から参りますと言ってから出かけたところが、1000万位で電話などするなといった雰囲気でありました。しかし最近500万円を下ろすのにさえ、根掘り葉掘り聞かれ、閉口したことがある。「何に使うのですか?」「車の購入です」「どこの車ですか」「日産です」その後奥の方から男性が出てきて、小声でくどくどと言われるのであります。私は右難聴であるので、左耳を突き出して聞くのでありますが、まったく何を言われているのか、さっぱり不明であります。結局500万円は出してくれたが、嫌な気分でありました。のちに周囲から「振り込め詐欺を警戒しているのよ!」と、しかし半年後阿部野橋支店で800万円を下ろしたときは、何も聴かれずあっさり下ろしてくれたのはびっくりしました。此方としては何か聴かれたときのために「屋根の修理です。」としっかりした答えを用意していったのに残念。この銀行はもう少し継続していこうと思っています。

④ 大正銀行…UFJ銀行系列の銀行なので倒産はしないであろうとの考えで保健所の退職金が下りたときに電話して車で来て欲しいと頼み一緒にUFJ千代田支店に行った。(東海銀行がUFJ千代田支店に変更になってまもなくのことであった。)1000万円を引き出すのに、ずい



ぶん待たされ、阿倍野橋支店に問い合わせているようでした。そしてようやく受け取ってこれと一緒に来たお兄ちゃんに「これ、10年定期にしておいてね」といって渡すと「1000円ください」と言うではありませんか。「何故!!」「普通預金通帳を作る必要があるからです」そこで1万円渡して、自宅まで送って貰った。後日通帳が2冊届けられました。その後、11年経って姉から「睡眠預金として国庫に没収される」と言われ銀行に連絡して、5年定期に切り替えてもらいました。後日通帳が送られてきました。11年間の1000万円の利息は約36万円でありました。その後、この2冊の通帳は、又眠りに入っている。

- ⑤ ろうきん（労働金庫）…住吉保健所に勤務していた頃、組合の役をしていた保健師さんに頼まれて30万円の定期預金をしました。その後、10年と11年目に決算書みたいなのが届いていたが、これまた放置していた。平成25年になってこれもまた睡眠預金として、国庫に没収されるのを恐れて、数年前に来ていた決算書を探し出し電話をしました。「私は、何時、何処の支店で預金をしていますか?」「本店です」「本店は何処にあるのですか?」「西区です」「私は、通帳も証書もありません。どうしたらいいのでしょうか?」「少し日数を頂いて確認させて頂きます」「堺方面にろうきんの支店はありますか?」「堺市市役所の近くの府道30号線にあります」「その支店で引き続き取引できるようにしてもらえますか?」「2週間程かかります」2週間後にその支店に行き、今までの30万円に170万円足して200万円の定期預金通帳を作りました。この銀行にはもうひとつの思い出があります。駐車場の入り口が分からず、その辺を徐行運転をしていて、左折したところ花壇のレンガで後輪をこすってしまいパンクしたのであります。とりあえず駐車場に車を置き、通帳を作ってもらいつつJAFに電話をして来てもらいました。すると、「タイヤのサイドが切れているのでこれは修理できません。」と、言われてしまいました。ちょうど新車が届くまであと1週間乗る必要があるので、応急処置としてスペアタイヤと交換してくれました。しかし「スペアタイヤでは高速道路は走れません」とおい

ではありませんか。週2回高速道を時速120キロで走行するのでこれには参りました。結局日産に行くと、古タイヤののなかから適当に探し出して何となく1週間乗り切ることが出来ました。ろうきんのお金もキチンとけじめがついて、ヤレヤレでありました。

- ⑥ 関西銀行…私が貯金を始めた頃は、〇〇信用組合という名称であった気もしますが、古い通帳が無いので不明であります。この銀行は住友銀行の系列と聞いています。この銀行も住吉保健所勤務時代に頼まれて、平成7年頃に預金したように思います。この口座もほぼ20年近く眠っています。時々通知書が届いているので先日この銀行に行ってみると、店は無かった。手元に余裕が出来たらもう少し預金を増やしてやろうと思っています。
- ⑦ ゆうちょ銀行…郵便局と言われている頃からの付き合いで、かれこれ30年くらいになるだろうか。学会費、同窓会費その他いろいろ送金専用に使っていました。昨年までUFJ銀行からの送金手数料は無料であったので銀行振り込みは殆どUFJ銀行からしていました。しかし今年から振り込み手数料が有料となってしまう、学会費、同窓会費は郵便局指定となっているので、手数料がかかるときは煩わしく思っていました。このため直接郵便局に出向き、振り込んだ方が安くなりました。私は、固定資産税、住民税も郵便局からの自動引き落としとなっているので“ゆうちょ”とは縁を切れそうにありません。

以上の様に今現在7つの通帳を持っています。銀行の倒産は今のところは起こらないと思われませんが、今後半分ぐらいに減らそうと思っています。皆様方はいかがでしょうか?男性諸氏は家に通帳が何冊あるのかご存知でしょうか?ご存知のない方も在られると思います。一度確認してみてください。奥様のへそくり通帳があるかもしれませんよ。また、自分がいつ死んでも家族が生きていけるという確信?を得ることが出来ると思います。

## くるま道楽 9

阪本 博史 (昭和59年入局)

先日、5年ぶりくらいに東京までくるまで行ってきました。長男が東京の大学に入学しまして、教養課程の1年間、千葉の佐倉という田舎の寮で暮らすことになり、荷物を届けに行きがてら、久しぶりにロングドライブをしました。片道約680km、7時間半の道のりでした。5年前とは高速道路の様子がまったく変わっていて、知らない道ばかり通って、千葉まで行きました。堺から千葉まで、いわゆる名神―東名は100kmほどしか通らずに行ってしまうのです。

阪和自動車道―近畿自動車道―第2京阪―京滋バイパス―名神―新名神―東名阪―伊勢自動車道―名古屋臨海道―東名―新東名―東名―首都高―東関東自動車道で佐倉まで。旧東名―名神を使うより、いわゆる東海道を走る為、東京までで70kmちかく短縮されています。この5―6年のあいだに整備された道ばかりで、道幅も広く、S.A.も近代的でテーマパークのようなレストラン、売店で、快適な時間を過ごせるよう工夫されています。名神・新名神、東名・新東名など同じ区間を併走している高速なので、渋滞も緩和され、快適です。関ヶ原を通らず、鈴鹿越えなので冬も雪に煩わされることも少ないでしょう。

### この時期の、車事情

3月まででくるまは買いつくされ、しばらくは新車展開も小休止です。トヨタのハイブリットのひとり勝ちもそろそろ陰りをみせています。もともと燃費の良かった軽自動車が当然のごとくアイドリングストップ機能を加え、乗り方に左右されず低燃費を達成しています。ハイブリットは乗り方次第であまり燃費が伸びないことがわかってき

たようです。

燃費(燃料にかかる費用)を良く(安く)するには？

- ① 車体を軽くする；軽自動車、小型自動車…プラスチックをたっぷり使う
- ② エンジンを小さくする；軽自動車、ハイブリット車
- ③ エンジンを回さない、止める；アイドリングストップ
- ④ 燃焼効率を良くする；各社の技術
- ⑤ 安い燃料を使う；ディーゼル

などの組み合わせです。この5項目のそれぞれの心配としては、①車体を軽くすると、当然ボディー強度は弱くなり、クラッシュが心配②力が弱い③セルモーターがどこまでもつか心配④宣伝どおりか⑤もっと海外並みに軽油を安くしてほしい。ガラパゴス軽は永遠として、これからは、ディーゼルが伸びてきそうです。前にもお話したように、ヨーロッパの自動車メーカーは昔からほぼ全車種にディーゼル仕様を持っており、日本には輸入されていないだけです。プジョー206のような小さい車にもディーゼルエンジンが搭載されており、ヨーロッパでは、ガソリン車よりディーゼル車の方が比率は高くなっています。ヨーロッパではガソリンは日本と同じくらいですが、軽油は安く当然の選択になっています。

### 【ノスタルジックヒーロー】

ポルシェ356 (写真)

ポルシェの市販量産車として、第1号と呼べる



くるまでです。

ポルシェといえば、フェルディナント・ポルシェが作ったスポーツカーの代表です。VWやアウトユニオン（アウディーの前身）のメカを作った技術者で、自ら会社を興したのがポルシェです。ヒトラーから国民的くるま作りを委託され、KdFを作り出しますが、これは軍用ジープ、キュービクルワーゲンになってしまいます。戦後このKdFがワーゲンビートルの原型となり今日に至ります。エンジン形式〔水平対向4気筒：フラット4〕も同じですし、そういえば、ビートルを上から押しつぶしたら、ポルシェみたいになりますよね。

ポルシェ356；1948年から製造が始まった356ですが、最初はWVと共用部品も多く、オーストリアの工場で細々と部品の組み立てを手作業で行っていました。翌49年から、ドイツのシュツットガルトに本拠地を移し、量産体制に入ります。また、ポルシェ社はこの年、VW社と①VW一台売れるごとにロイヤリティーを受け取る②必要な部品をVW社から提供される③VW社のサービス、販売網を利用できる④ポルシェ社は、VW社以外のためにVW社と競合する車を作ってはならない。という契約を以後25年間にわたり結びます。という事は、1974年までVWビートルが1台売れるごとに収入があったわけで、ビートル全盛の時代ですので、相当資金的には潤っていたようです。

356は、プリ356、356A、356B、356Cと変遷してゆきますが、日本に始めて輸入されたのは、1953年からで、プリ356から入ってきています。1956年からの356Aからがいわゆる量産型の356でおなじみの形です。エンジンは、1100,1300,1500,1600ccでそんなに大排気量でもなく、馬力も40から最終型でも95馬力で、今では軽なみです。

このくるまをなにより有名にしたのが「ジェームス・ディーン」の事故死でしょう。1955年9月30日、ロサンゼルスのパソ・ローブルのハイウェイパーカーフィールド406で、愛車ポルシェ505スパイダーで左折しようとしたフォードと衝突、即死しました。24歳でした。505スパイダーとは、プリ356のセミレーシング仕様のくるまで、コンパチブルでバンパーも無く、安全性は皆無のくるまでです。せめて、映

画俳優らしく、コーベットか、サンダーバードくらいに乗っていたら、命は助かっていたかもしれないのに残念です。あんなに有名なのに、3本しか映画をとっていないのですよ。エデンの東、理由無き反抗、ジャイアンツ……

## 【今回お薦めのくるま】

お薦めというより、「買うのはやめましょう」というくるまでです。

SUVです。格好はいいのですが、それ以外の取り柄が見当たりません。まず、サイズ。幅のわりに長さが短い。くるまの乗り心地というのは、もちろんサスペンションのセッティングですが、車軸の前後長（ホイールベース）が長ければ長いほど乗り心地が良くなるものです。だから、リムジンは、長ーいのです。運転席が高く、揺れを大きく感じ、オフロードに対応していればいるほどサスペンションは硬くなり乗り心地は悪い。荷室もそれほど大きくはなく、後面はハッチバック風に斜めにカットしてある為、あまり荷物は積めません。良いところといえば、運転席が高く、前が見やすい。そのかわり、乗り降りがしにくい。各社さまざまな名前のSUVが出ていますが、どれも似たり寄ったりです。

このあいだの、東京往復は、キャデラックのSUV—SRX 4で行ってきました。家族はふわふわの乗り心地に満足して、ずっと爆眠していましたが、運転するほうにしてみれば、直進性は悪いし、カーブもふわふわで怖いし、アメリカのような真っ直ぐのハイウェイが10kmくらい続いているとか、砂漠の中の一本道を何時間も走るのにはいいかもしれませんが、東名、名神では、ちょっと？です。でも、5000ccのエンジンで、燃費が9.8 km/lには、満足でした。



## がんばれサムライブルー！！

木下 裕介（平成7年入局）

この会報が先生方の手元に届く頃には、W杯の結果が出ていると思います。恐らくブラジルの6回目の優勝で！！世界中のかなりの人がブラジルの優勝を予想していると思います。僕もその中の一人です。特にブラジル国民は単なる優勝ではなく開幕戦から決勝戦まで全勝の完全優勝を期待している事でしょう。もちろんその実力は十分あるし、可能性も十分あると思います。

今、日本対コートジボアール戦が終了、1-2で負けました。ドログバが投入された数分間でやられてしまいました。ドログバが投入された瞬間スタジアムの雰囲気が変わり、コートジボアール選手全員息を吹き返した気がします。日本にとって非常に厳しい敗戦ですが、まだまだ可能性は十分あると思います。その理由として、コートジボアールは今日以上のサッカーはできないように思います。おそらくコロンビアVSコートジボアール戦はコロンビアが勝つと思います。日本がギリシャに勝てば、日本・コートジボアールは勝ち点3で並びコロンビアは勝ち点6となり、日本戦は引き分けでもいいため、無理なサッカーをしないと思うからです。そこが狙い目です。残りの2試合是非勝ってもらいたいものです。

コートジボアール戦、遠藤、柿谷、今野はスタメンから外れ山口、大迫、森重が選ばれました。これは、コートジボアールの身体能力に備えた布陣である事は明らかだと思います。次のギリシャ戦は攻撃的に行くしかないと思います。遠藤・長谷部のボランチ、柿谷の1トップで行ってほしいと思います。そして最後のコロンビア戦、僕の希望を言えば、0トップで2列目に大久保・香川・本田・岡崎の4人を並べて欲しいと思っています。後ろからのスルーパスに対し4人が裏を狙うサッカーを見てみたいです。

6月13日にブラジルVSクロアチア戦で開幕、ブラジルはクロアチア相手に実力を発揮しいスタートを切りました。さすが優勝候補筆頭です。ただクロアチアのチーム力はただ者ではなかったです。初戦は負けましたが、上位まであがってき

そうな気がします。メキシコVSクロアチアは非常に楽しみな1戦です。日本戦まで8試合終わりましたが、ここまでの感想を述べると、何と言っても目立ったのはオランダの攻撃力とスペインの不甲斐なさです。ただスペインもこのままでは終わらないはず。次のチリ戦は決勝トーナメント進出を賭けた死闘となる事でしょう。また、イタリアがイタリアらしい試合運びで勝ったのは、イングランドには申し訳ありませんが、僕にとって嬉しい事です。今後の活躍を期待したいです。

今までの大会でも死のグループと称される強豪国が重なったグループが必ずあります。今大会で言うところのグループB・D・Gでしょうか、その中に紛れ込んだオーストラリアやコスタリカは本当にお気の毒としか言いようがないです。死のグループでは全くないですが、グループH（ベルギー・ロシア・韓国・アルジェリア）は非常に楽しみにしています。普通で行くとこの4カ国には優勝の可能性はほとんどないと思っていますが、ベルギーは若い選手が多く、欧州予選を負け知らずで突破しており、歯車がかみ合えば一気に駆け上がるかもしれません。ロシアは時期ワールドカップの開催国です。従って4年後に勝ち上がるためのチーム作りをしているはずで、ロシアも若いチームでくると思うので波に乗ると怖い存在です。そして迎え撃つアジアの虎韓国と身体能力の高いアルジェリア。どこが勝ち上がるか全く予想が立たないグループで、楽しみなグループだと思います。

ギリシャ戦を控えた今、日本は勝つしかありません。難しいサッカーは要りません。日本らしい前線からの守備でボールを奪い取り、流動的なスピードのある綺麗なパスサッカーこれができるれば自ずと勝利は見えてきます。シャンパンブルー（フランス）やアズーリ（イタリア）とはひと味違うサムライブルーの活躍を期待しつつ、今からドイツ対ポルトガル戦を観戦します。

## ワンマンオーケストラ 神保 彰

鱧永 浩 (平成7年入局)

H7入局の鱧永です。今回も、前回の宮脇先生に倣いまして、最近私がよく聴くアーティストをご紹介します。

### 神保 彰 AKIRA JIMBO

1980年、フージョンバンド、カシオペアでプロデビューして以来、四半世紀の長きにわたって常に音楽シーンの最先端を走り続けるトップ・ドラマー。

ミディードラムトリガーシステムを駆使した、ワンマン・オーケストラという独自の演奏スタイルを編み出す。驚異的な演奏テクニックとモダンテクノロジーの融合による前人未踏のパフォーマンスは見る者を圧倒し、その評価は国内はもとより、広く全世界に轟いている。1999年、英ドラム誌“RHYTHM”読者人気投票第2位。2000年、世界で最も権威あるドラム専門誌である、米“MODERN DRUMMER MAGAZINE”が6月号の表紙に神保を起用し、10数ページにわたる特集を組む。日本人、アジア人として初の快挙。2003年、創刊20周年を迎えたリズム&ドラム・マガジンが初めて行なった読者人気投票において、堂々の一位を獲得。2007年、ニューズウィーク誌の特集「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。2011年、国立音楽大学ジャズ専修客員教授に就任。熱帯ジャズ楽団、Pyramid、カシオペアのサポート等の国内でのバンド活動に加えて、ワンマンオーケストラ名義のパフォーマンスやセミナーで世界中をツアーし、多忙な日々を送っている。(神保彰 オフィシャルHPより)

ひとりで、ドラムを叩きながら、同時にいろいろな音、メロディを奏でる(叩き)天才的なドラマーです。ワンマン・オーケストラと言い、「自動演奏ではなく、全部自分で叩いてメロディーもハーモニーもすべての音を出しています。一打でもミスをするると全体の骨格が崩れて破綻してしまいます。自分の中で鳴ってる音楽を4本の手足でどこまで完成形として提示できるかのチャレンジです。もしも、叩くのミスをすると、とたんに変

な音や、変なメロディが流れ出して、曲をなさなくなりますので、一度もミスが許されない高度なドラム演奏です。」と述べられております。

アルバムの中でもJIMBO de COVERシリーズは、どこかで聴いた事がある曲が1つは必ずあると思われまますので、耳に馴染みやすいと思いがいかげんでしょうか。

iTunesでもダウンロードができます。私はネットワークオーディオに取り込んで、シャッフル、エンドレスのモードで外来で流しっぱなしにしています。

### JIMBO de COVER



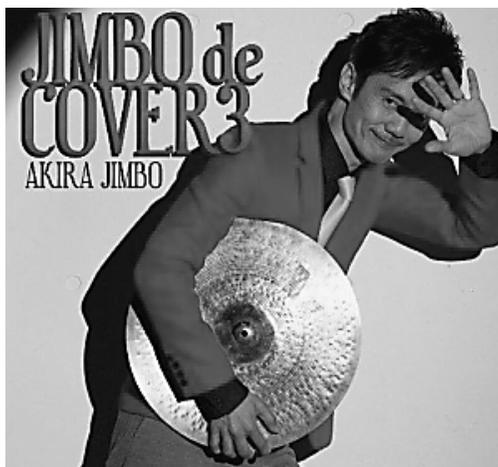
1. 彼こそが海賊 (パイレーツ・オブ・カリビアン (呪われた海賊たち))
2. ミッション・インポッシブルのテーマ
3. リベルタンゴ
4. ボレロ
5. 007のテーマ
6. アランフェス協奏曲
7. オペラ座の怪人

JIMBO de COVER 2



1. Thriller
2. I Wish
3. 真っ赤な太陽
4. Caravan
5. Rhapsody in blue
6. Bad Romance
7. Imagine
8. Rydeen
9. Freeway Jam

JIMBO de COVER 3



1. ルパン三世のテーマ
2. ブラック・ドッグ
3. カム・トゥゲザー
4. 交響曲第5番「運命」
5. コーヒー・ルンバ
6. セブテンバー
7. マッシュ・ケ・ナダ
8. マイシャローナ
9. 明日に架ける橋
10. Set Them Free
11. Set Them Free エンディングテーマ (TVサイズ) デスクトップドラム ver.





---

## 編集後記

本年、市整会の功労者であられる宮内 貴先生が他界されました。鳴嶋会長から木下 孟先生にお願いした追悼文を本号では掲載いたしております。其中で、多くの先生方とともに登山なされていたご勇姿をうかがい知る事ができました。

会報の編集作業がまさにワールドカップ熱戦の期間中であった事を先にお断りいたしておきます。ワールドカップネタはできれば避けたいところですが、整形外科ですのでこれだけは避けて通る訳には参りません。木下先生にはいつも無理を言ってお書いていただいております。

藤原先生にはいつも無理を承知で原稿をお願いしております。そのユニークな内容にはいつも感

服させられる次第であります。また車好きの私にとって阪本先生の車道楽はいつも楽しく拝見させていただいております。診療に役立つ会報をと、桑野先生には整形外科できわめて重要な骨粗鬆症について率直な意見を書いていただきました。

秋の市整会は伊賀上野なのですが、多くの先生が参加される事を願い、応援企画を組んでみました。

市整会会報やホームページの投稿がいつも同じメンバーばかりだとおしかりをいただいております。会員の皆様の会報、ホームページへの投稿を何卒お願いしたいと思います。

広報 宮脇裕二